

## ため池の総合対策について

令和2年4月17日

ため池・農地防災担当

### 1 要旨

県では、平成31年3月に策定した「ため池の整備・廃止・管理等に関する方針」や令和元年7月から施行された「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」（以下、法律という。）に基づき、「ため池の総合対策」を進めてきた。今年度は、これまでの成果や課題を踏まえながら、次のとおり対策を進めていく。

### 2 これまでの取組状況及び今年度の取組

#### (1) 農業用ため池の実態把握（法律に基づく届け出、指定等）

##### ① 農業用ため池の届出書の提出

法律に基づき、所有者等がため池に関する情報について届け出されるよう、市町と連携し関係者に資料を送付するなどの働きかけを行ってきた。こうした取組により、約6割となる10,704箇所への提出へ繋げることができた。

	農業用ため池の数 (届出対象数①)	提出の状況（令和2年3月末時点）	
		箇所数②	割合（②/①）
農業用ため池の届出	18,938箇所(17,975箇所)	10,704箇所	59.5%
うち防災重点ため池	7,798箇所(7,170箇所)	4,857箇所	67.7%

※届出対象は、農業用ため池のうち市町所有を除いた数。

未提出になった約4割のうち、今年度は、決壊した場合に人への被害のおそれがある「防災重点ため池」を中心に、利用や管理の実態調査を進め、順次、市町と連携して管理者（利用者）に届出書を提出するよう要請していく。

##### ② 特定農業用ため池の指定

法律では、農業用ため池のうち、決壊により水害等の被害を与えるおそれがある箇所について、市町の意見を聞きながら、県が指定することとなっている。このため、浸水想定区域図の作成後に市町が浸水により避難が困難となることを確認した725箇所について指定した。

	防災重点ため池の数 (指定見込数①)	指定の状況（令和2年3月末時点）	
		箇所数②	割合（②/①）
特定農業用ため池の指定	7,798箇所(7,170箇所)	725箇所	10.1%

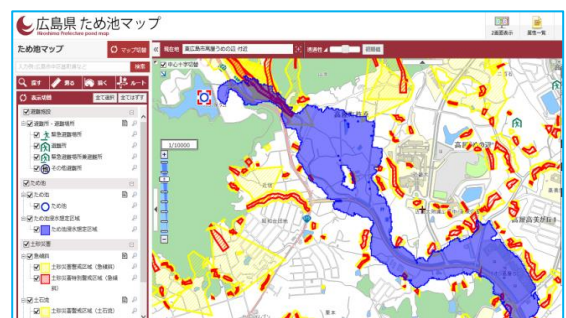
※指定見込数は、防災重点ため池のうち市町所有を除いた数。

今年度は、浸水想定区域図の作成と市町による確認を計画的に進め、令和3年5月末までに、すべての指定を終えることができるよう進めていく。

#### (2) 防災・減災対策の推進

##### ① 迅速な避難行動につなげる対策

防災重点ため池（7,798箇所）の位置を「広島県ため池マップ」で表示するとともに、令和2年3月末までに作成した約2,000箇所の浸水想定区域図について関係者との調整ができたものから、順次公表し、緊急時の迅速な避難行動に必要な情報の提供を開始した。



今年度は、引き続き、浸水想定区域図の作成を進め、「広島県ため池マップ」で令和3年5月末までに順次公表し、情報の充実を図る。加えて、市町によるハザードマップの作成と公表が早期に行われるよう働きかけていく。

区 分	対象箇所数			
	H30 まで	R1	R2	計
ため池マップの作成・公表	503 箇所	7,295 箇所	—	7,798 箇所
浸水想定区域図の作成	503 箇所	1,513 箇所	5,782 箇所	7,798 箇所

## ② 利用するため池の管理強化・補強対策

出水期前に草刈等を行い、施設の老朽度などを確認した上で、必要に応じて水位を下げるなどの対策について、市町と連携しながら、管理者等に要請した。また、豪雨などを契機にため池の堤が決壊しないよう、令和元年度は25箇所の補強工事に取り組み、令和2年3月末までに6箇所の工事が完成した。



管理者等によるため池の管理状況



ため池の改修状況

今年度は、引き続き、ため池の適切な管理を管理者等に対して要請するとともに、約30箇所において補強工事を進めていく。また、ため池の利用者の減少や管理者の高齢化により、適切な管理への対応が課題になっていることから、法律に基づく届出書により把握された利用や管理の実態も踏まえながら、防災重点ため池に対する管理体制の強化に向けた仕組みの検討も進めていく。

## ③ 利用しなくなったため池の統合・廃止対策

まずは管理者等に水位を下げてもらい、当面の安全性を確保した後に、100箇所程度の工事に着手する予定としていたが、権利関係の調整や入札不調等により、27箇所の工事発注に留まった。

今年度は、地元調整が済んだ62箇所の工事に着手することとしている。

なお、権利関係の整理が円滑に進むよう所有者不明の土地問題の解決に向けた制度化を国に要請する。また、建設業者の稼働状況を把握しながら、受注しやすい環境づくりに努め、廃止工事の早期着手へつなげていく。

加えて、施設の破損や埋没などにより水位低下が困難な場合には、ポンプによる排水や閉塞箇所の解消などの支援を行い、安全性を確保していく。



ため池の廃止工事